

■ジンバブエ：エネルギー相、供給力増強の必要性を主張

ジンバブエ発電会社（ZPC：Zimbabwe Power Company）は2013年6月21日、太陽光発電所の建設プロジェクトのパートナーを募集すると明らかにした。このプロジェクトは、ジンバブエ南部の北マタベレランド州グワンダに、アフリカでは最大級となる総出力10万kWの太陽光発電所を建設するものである。公募期間は2013年7月5～23日で、資金や技術者、建設事業者など建設に係る様々な分野のパートナーを募集する方針。同国では、エネルギー問題は最優先課題とされており、電源開発が急ピッチで進められている。最近では、出力30万kW水力発電増設プロジェクトを3億6,800万ドル（361億円）、China Machinery Engineering Companyと60万kWの火力発電所増設プロジェクトを13億ドル（1,275億円）で、中華系企業のSHINOHYDOROとそれぞれ契約締結している。